

代々木歯科コーナー

連載



— その63 — 歯科医師 上田英範

代々木歯科にてお口の潤い検査が出来るようになりました

「口腔水分計」を導入
代々木歯科では、口腔機能低下症（オーラルフレイル）の検査をかねてより行っています。

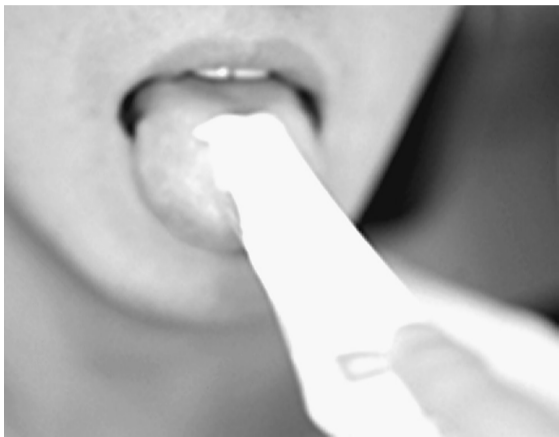
この度、新たに「口腔水分計」を導入し、口腔機能低下症の検査項目に口腔粘膜湿度検査が追加されました。この事で、舌の筋力測定、噛み砕きの測定、お口の潤いの測定が行えることになり、結果が数値として分かりやすく把握できるようになります。

お口の渇きを数値化してチェックできる

お口の渇きは、病気がなくとも加齢とともに睡



写真：口腔水分計



液腺が委縮してしまつためや、様々な薬の副作用として生じます。今まではお口の粘膜の観察等で渇きの程度を評価していましたが、「口腔水分計」を用いることで数値としてお口の渇きの程度を得ることが出来るようになります。

検査結果から対策へ

検査の結果から、舌の体操、唾液腺マッサージの指導や服用薬の変更を主治医の先生にお願いする事もあります。また、お口の渇きに効果のある漢方薬を処方する事もあります。

飲み込みが不安な場合はこの検査の対象



となる方は、65歳以上の飲み込みや滑舌に不安のある方となります。御自身で自覚されていなくても、検査を受けると結果が基準値に満たない方もいらっしゃるようです。少しでも気になる方はお気軽にご相談ください。

くすりの話あれこれ 136

8月24日は薬害根絶デーです

間規子 (たくみ外苑薬局)



1999年8月

24日、厚生省(当時)の前庭に、こんな言葉が刻まれた碑が建立されました。その言葉とは…

『命の尊さを心に刻みサリドマイド、スモン、HIV感染のような医薬品による悲惨な被害を再び発生させることのないよう医薬品の安全性・有効性の確保に最善の努力を重ねていくことをここに銘記する』

数千百名もの感染者をだした「薬害エイズ」事件 このような事件の発生を反省しこの碑を建立した

そして、その翌年から、薬害を起したことを反省し、再発させない、と誓ったこの日を「薬害根絶デー」として、全国から、薬害根絶を願う人々が、厚生省前に集



い、その思いをリレートークなどでアピールします。

また、全国薬害被害者団体連絡協議会(薬被害連)が、厚生省、文科省交渉を行い、「誓いの碑」の前で、厚生大臣に、薬害再発防止の要望書を渡します(通称「碑の前行動」)。

今年20回目となった薬害根絶デーは、8月23日(金)11時45分から、厚生省前でおこなわれます。



副作用とはその様相も国や製薬企業の対応も異なり、身体的、精神的、社会的な被害をもたらす薬害。そのような被害を二度と起こさないという思いのこもったこの日のことを、一人でも多くの人に知って頂けたらと願います。

代々木病院の社保・平和活動



7月4日参議院選挙公示日、病院・友の会・労働組合の三者共闘で、「投票に行こう」の朝ピラ宣伝を行いました。

サプリメントに頼らない生活

薬剤師 藤竿伊知郎 (外苑企画商事)

消炎酵素製剤は、痰を溶かして排出しやすくなり、炎症による腫れを抑える薬として30年以上使われてきましたが、薬効再評価の結果、201

ダイエツト用として話題の酵素製品は、野菜や果物を発酵させた食品で、どんな有効成分が入っているかも明らかにしていません。さらに、どんな物質でも、必要な臓器まで届かなければ効くわけがありません。広告のうたい文句には気を付けてみましょう。

7月号で酵素食品の問題を紹介しました。酵素製品の宣伝では、食事に含まれる栄養素を消化・燃焼させてエネルギーに変える酵素の大切さを強調します。その上で「加齢や不規則な生活によって不足する」と不安をあ

おり、「これを飲んで調子が良くなった」という個人の体験談で売り込む手法が使われています。

酵素は、生命活動に必要な成分を合成し、不要になった物質の分解を促進する「触媒」として働く「タンパク質」分子です。消化機能が落ちた患者さんに消化酵素製剤を用いるなど、有用な物質です。しかし、分子サイズが大き

1年から2016年までの間にすべて販売中止となっています。医療費のムダ遣いでもあり、効果があると信じて使っていた人にはショックな話でした。



(50) 酵素を飲んでも、消化されてしまう